四極大分

〈発行責任者〉髙野　浩子
〈題　　字〉桑原　豊
〈発　行　所〉
大分市金池町2－7－21
パークサイド大分駅まえ302号
四極会大分支部
TEL（097）538－2462
FAX（097）529－6623

［干潟・夕陽の真玉海岸］園田　健治（大学14回）

「きっかけ」「ご縁」「つながり」

山田　昌弘
大分支部副支部長（大学43回）

一九九〇年春、故郷の鹿児島市を離れ大分大学に入学をしました。以来、この大分で不思議な「ご縁」でつながり、まさかまさかの三十三年の月日が経ちました。

大学時代は学園祭運営委員会に所属し当時の開学祭を仲間と一緒に盛り上げました。また途中約半年間だけでしたが硬式野球部に所属し白球を追い掛けた時もありましたね。思えば学生時代はアルバイトに明け暮れていました。この学生時代にいただいた「ご縁」が現在の私のベースになっていることは言うまでもありません。

一九九五年前職に入社し総務部で約十一年間社会人として、会社全体のことを学びました。入社した頃は生意気でだらしなくてたくさんの方々にご迷惑をおかけしましたが、ここでもたくさんの「ご縁」で学ばせてもらいました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、二〇〇六年五月三十四才の時に人生の転機である転職をしました。このことが「四極会」と深くつながる（関わる）きっかけとなりました。その頃は期別理事会という仕組みがあり、大学同期で当時期別理事だった森正行（大42）君から「四極会のイベントに参加してみたら」というお声掛けいただき〝素直に受け止め足を運んだこと〟が現在にまでつながったこと、間違いありません。

当時の大分支部事務局安東政義（大16）さんのアツいお誘いで大分支部総会&懇談会に参加し、その会で四極会会長（当時）の相良浩（大12）さんにご挨拶したところ「支部ゴルフコンペにおいで」というお誘いがあり参加してみました。するとこのコンペがきっかけで「昭平会」入会への道がつながりました。ティーオフ直前に同じ組の麻生栄作（大32）さんから携帯電話を渡されて、まだお会いしたことのない髙野浩子（大34）さんの声で「今度、昭平会の例会があるからおいで」と誘われ、台本が出来ているような連携プレーでした。でもこのプレーが四極会&昭平会と深くかかわることになったこと間違いありません。

そのような私が二〇二二年の大分支部総会で副支部長の大役を拝命しました。これまでお世話になってきた諸先輩や同僚に恩返しをしたいと思います。大変お世話になりました故田中康生（経26）大先輩から「昭平会の次の会を作りなさい」と生前に指示を受けたまま未だ実現していないので立ち上げを実現します。

これまで私はたくさんの「きっかけ」をいただき四極会で「ご縁」が「つながり」ましたので、今度は私がたくさんの「きっかけ」づくりのサポートをしていきます。

今後とも、ご指導くださいますようよろしくお願い申し上げます。

四極会交流の場

「Facebookに『四極会交流の場』のアカウントを開設しました、友達になって投稿しましょう。」

四極鼎談

今回対談をしていただくのは、大学二十回生です。上野キャンパスと旦野原キャンパス両方を経験した最後の先輩達です。

〈ゼミ／サークル〉

（吉森） 国際経済が専門の松浦ゼミ。サークルは水泳部、入学一ヶ月しか経っていない五月、即、鹿児島大学での九州国公立大学大会の八〇〇m自由形に強制出場させられ、ビリッケツに終わった。今思うと八〇〇mよく泳ぎ切ったなと思う。

松浦ゼミは別府や筋湯で「ゼミ合宿」をした。主に英語の原書読みだったと思う。先生に多くの費用負担していただいたことに感謝している。

（北山） 会計学の白木原ゼミ、サークルはバレーボール部に所属したが、臼杵から通ったこと等、家の事情で途中退部。

（渡邉） 民法の竹屋ゼミ。サークルは弓道部だったが、一年で退部。

経済と商業のゼミが主流の大分大学では法律系のゼミは亜流だった。商法の深見ゼミに入りたかったが、抽選に漏れ民法の竹屋ゼミになった。竹屋ゼミでの勉強は就職してから役に立った。竹屋先生は単位取得に厳しかった。

（北山） やはり学生の本文は勉強である。卒業後和田先生にお会いする機会があり、白木原ゼミは遊びゼミと思われていると感じた。和田ゼミに入れる位に勉強せねばならなかったんだと。

（渡邉） あらゆる分野で必修科目が多かったので、それらを勉強した成果が社会人になって役立った。

ゼミの竹屋先生とは三・四年生全員で「ゼミ旅行」に行ったりした。亡くなられた今でもご自宅にお参りに行っている。

〈学生寮の思い出〉

（吉森） 上野キャンパスと旦野原キャンパス両方の寮に入っていた。

汚かったけど団体生活で衣食住を共にするということは後々になっても良かったなと思う。

上の階の窓から上級生の小便（寮雨）が落ちてきたこともある。

ラグビー部とサッカー部が風呂に入ると泥風呂になるので、その前に入っていた。

（北山） 寮に入っていなかったけど、寮に泊る時に先輩が「ストーム」をかけてくるかもしれないから注意するよう言われた。

〈開学祭・学園祭の思い出〉

（北山） まだバレーボール部所属の際、腹に炭を塗られ中央町・竹町通を練り歩いた記憶がある。

（渡邉） 写真が残っている。

〈就職〉

（吉森） 当時は上場企業からの求人件数は豊富だったし、県外の著名企業に就職できる時代だった。

（北山） 「優」が少なく「可」ばかりだから、県内有力企業に入れなかった。

地元の「臼杵鉄工所」に入ったが、入社七年目で倒産、再就職先を探すのに苦労した。手に職を持つか資格を持っておかないといけない。

（吉森） 損保・商社希望であった。四年生になって直ぐの四月に損保に内定したので「誓約書」を出そうとして、松浦先生に相談したら、松浦先生から「今からもっと良い企業から求人が来るから待ちなさい」とアドバイスをいただいたが、そのまま「日本火災海上保険」へ入社。結果的には四十年間サラリーマンとして最後まで働けたので自分の気持ちを押し通して良かったと思う。

松浦先生は大企業枠を持っていたらしく、大企業への就職に強いゼミだったが、損保業界では経済よりも法律の知識が必要であった。

吉森　彰宣 氏

（渡邉） 我々昭和四十年代の卒業生は求職に苦労しなかった。ゼミの先生の推薦があれば、殆ど希望の企業に就職できた。

（北山） 自宅通学及び県内就職希望だったので、当時それを知っていたらクラブ活動及び単位取得をもう少し頑張ったのになー。

売り手市場だったので、面接に行くだけで「旅費」と「日当」をくれた時代だった。

（渡邉） 就職希望業種はメーカーだった。又、あまり大きな企業には行きたくなかったので、小さくても業界首位の企業を探した。竹屋ゼミの先輩が「日本酸素」に二年連続で入っており、私が「ゼミ幹」であったこともあり先生から勧められた。丁度、同社役員がリクルートに学校に来ていたことと、小さくても業界首位の会社で自分の希望にピッタリだったので同社に決めた。予想が当たったのか、入社当時の売り上げは四百億円程度だったが、今や一兆円企業に成長した。

当時女子学生は定員二三〇名前後に対して一桁台の人数だった。

人事部勤務の際、女性は短期大学出身しか採用していなかった。当時女性は四年生の大学に行っても就職先が無かったので女子学生の比率が低かったのでは？

〈学費・授業料〉

（北山） 特別奨学金とバイト代で家から学費と生活費をもらわなくて済んだ。

今の国立大学の入学金は約六十万円

（渡邉） それ位の入学金を払うなら九州で一番の都会の福岡の私立に行く傾向が強いのでは。

とにかく月謝が安かった。月一〇〇〇円で高校の月謝より安かったと思う。この金額で大学に通わせてもらったことは国に感謝している。

（北山） 多分当時の高校の月謝

は約一七〇〇円

（渡邉） 皆貧しかったので都会の下宿代を払う余裕がなかったから、大分大学に行くしかなかった。浪人もできなかったので二期校制度は助かった。

渡邉　秀生 氏

〈学業／遊び〉

（北山） 二年から旦野原キャンパスになったので大分駅から向かうのが面倒で、そのまま学校に行かず、駅近のパチンコ「ナショナル会館」に開店と同時に通った。午後はパチンコ「明治会館」二階の雀荘で麻雀三昧、十六時過ぎに臼杵の実家に帰るパターンの繰り返し。パチンコは結構勝った。

麻雀は社会人になって役立った。「臼杵鉄工」倒産後、商工会議所に勤務の際、お偉い方の代打ちをした。

（吉森） 寮生活で麻雀を覚えたので接待には役立った。

（北山） 在学中は「OBSレーン」へ早朝ボウリングによく通った。

（渡邉） 北山君はそんなに遊んでよく卒業できたね？

（北山） 津久見から通っていた大分県庁に就職した真面目なK君に助けられた。試験前にK君の予想問題で単位が取れた、三・四年次は〈「可」取り線香〉だったけど、お陰で卒業できた。

一・二年時の必修科目は全部単位を取った、出席を取る科目には出た、特に英語は必ず出席した。

（渡邉） 北山君はオン／オフの切り替えがうまいということだね。

（北山） ドイツ語の楠本先生は厳しかった。試験で困っているところをK君がこっそりと写させてくれたので単位を取れた。

（渡邉） K君は本当に優秀だったんだね。

（吉森） 体育は、夏は水泳・冬はスケートが必須科目で、これをクリアすることに苦労する人が結構いた。

（北山・渡邉） 代泳もしたなー。数人分の代泳をすると「キチー」かった。旦野原キャンパスのプールは五十mなのでもっときつかった。平野先生は北海道出身だからスケートが上手かった。

（北山） 二年の時のバリケードを築く「学園封鎖」は嫌な思い出となった。全共闘が嫌いだったから衛藤晟一先輩から学園封鎖解除に誘われ、いざ行こうとしたら、前日に学校職員が解除してしまった。

（渡邉） 従って、二年次の頃は授業が潰れてしまったので学校をさぼった理由にすることができた。

（吉森） その後「経済学部封鎖」もあった。夜遅くまで思想を植え込む「オルグ」もあったなー。

（北山） 卒業後、暫く単位が足りなくて卒業出来ない夢を頻繁に見た。目が覚めたら今働いているんだという現実に戻っていた。

（渡邉） 私も時々あった。必修科目を落として留年すると両親に経済的に迷惑をかけるという現実があった。

（北山） 我々のちょっと下級生くらいから留年に対する罪悪感が無くなる傾向にあった。

〈四極会／経済学部に対する思い〉

（渡邉） 旦野原キャンパス移転により単科大学から総合大学になり、サークル活動も他の学部と一緒に活動するようになったので「四極会」への帰属意識が薄れた気がする。

社会人現役時は仕事が忙しくて「四極会」に出席する気にならないのが現状では？

学生時代に「四極会」にお世話になったので、自分たちに余裕が出来たらお返ししようかという仕組みにしないといけないのでは？

ようやく六十代になって奥川東京四極会会長に誘われて「四極会」に参加するようになった。

会費とは別にクラウドファンディングも採用したらどうか。センスの良い目的であれば、私は喜んで払うし、現役の方でも出資する方が出て来ると思う。

今後の経済学部は「四極会」が学生ベンチャーに出資するとか独自性を出していかなければならないのでは？

（北山） 十周年毎の募金は周期が短すぎる。

北山　信夫 氏

（渡邉） 職域「四極会」は縮小気味と感じる。むしろ、現役の方に参加してもらうには家族ぐるみのイベントを活発化させてはどうか？

当時は専門科目が多く、経済系・経営系・社会学系・商学系・法律系が必須科目だったので、知らないうちに実務的な基礎知識が身についていた。おそらく高等商業の流れを引き継いでいたのであろう。またいくら履修単位が足りていても、一年で最低二十単位以上取らないと留年という厳しさもあった。

（吉森） 学生が座学から地域に出て行って提案する授業にウエイトを置くようになったようなので、「四極会」基金やクラウドファンディングで支援するなら会員は喜んで会費・寄附を払ってくるのでは？

（渡邉） 来年度からの経済学部の改革に於いて国家公務員上級職への合格や難関資格が取れる履修体系も検討してほしい。

〈現役学生に対するアドバイス〉

（北山） 勉強しなさいということ。「優」が少なく「可」ばかりだから、県内有力企業に入れなかった。

（渡邉・吉森） 地元志向が強いようだけど、一度は中央の大手企業で働いてグローバルな視点を養って欲しい。

県内の為には地元に就職するのも良いが、大分県を出てグローバルに海外でも活躍して欲しい。

（全員） 営業をやるなら、「四極会」名簿を活用すると良い。

（吉森） 重要得意先に「四極会」会員の先輩がいて、色々と世話していただいた。

（吉森） 自分で考える力を身に着けて欲しい。そして読書すると良い。若いうちは少々苦労してでも地道に努力してへこたれるな。継続して努力しないと「知見」がついてこない。

（渡邉） 追いかけられるより追いかける仕事をする為には、常時でなくともある時期猛烈に努力する必要がある。学校は創作の場である仕事をする為のベース作りの場と思え。又、真の一流に触れる機会を作ることにも意を用いてほしい。

―対談者プロフィール―

●渡邉　秀生
（大分県立高田高等学校）

職　歴
S47年　日本酸素㈱入社
H19年　日本液炭㈱入社
H29年　同社退職

●吉森　彰宣
（大分県立中津北高等学校）

職　歴
S47年　日本火災海上保険㈱入社
H24年　日本興亜損害保険㈱
　　副社長退任
H25年6月　多木化学㈱
　　社外監査役就任
R3年3月　同社退職

●北山　信夫
（大分県立臼杵高等学校）

職　歴
S47年　㈱臼杵鉄工入社
S53年7月　同社退職
S54年3月　臼杵商工会議所入所
H27年3月　同所専務理事退任

支部活動報告

一．令和四年度事業報告（コロナ禍の支部活動）

国内で新型コロナウイルスの感染が確認されてから丸三年となった令和四年度は、第七波、第八波と感染が拡大しました。こうした状況を踏まえ、大分支部の活動も前年度に引き続き大幅な自粛を余儀なくされました。

・職域交流会：職域企業、職域支部の現役で働く会員が集まる交流会は、会食自粛等を考慮して中止。

・学生と先輩との交流会：経済学部から新型コロナウイルスがいまだ収束していないので、今年度も見合わせたいということなので中止。

・囲碁大会／麻雀大会
・登山会／歩こう会等の親睦会行事はコロナ禍の理由により中止した。

二．経済学部創立一〇〇周年記念事業の実施

①自遊展：

これまで、大分支部の親睦会事業として実施してきたが、令和四年度については、一〇〇周年記念事業の一環として本部主催で実施した。

・日時：令和四年六月二十二日～二十六日
・場所：ｉｉｃｈｉｋｏ総合文化センターアトリウムプラザ
・出品者：絵画、版画、能面、写真、水墨画、短歌、俳句、川柳、木彫、陶芸、書籍、映像などの分野から五十一人（内大分支部二十九人）一三一作品
・来場者：延べ八三一人

自遊展

②ゴルフ大会：
　これまで、大分支部の親睦会事業として実施してきたが、令和四年度については、同じく一〇〇周年記念事業の一環として本部主催で実施した。
・日時：令和四年六月二十六日
・場所：大分竹中カントリークラブ
・参加者：三十六人（内大分支部二十四人）
・優勝：相良浩四極会名誉会長（大12）／準優勝：沼口秀一さん（大18、宮崎県）

③記念ツアー：

創立 100 周年記念ゴルフ大会

〈臼杵石仏・城下町ツアー〉
・日時：令和四年六月二十六日
・参加者：十名（内大分支部四人）
・コース：稲葉家下屋敷、野上弥生子記念館、二王座歴史の道、臼杵石仏、龍原寺

〈母校訪問ツアー〉
・日時：令和四年六月二十五日
・参加者：十七名（内大分支部四人）
・コース：上野丘校舎跡地、旦野原キャンパス、黒土始記念講堂

臼杵石仏・城下町ツアー

三．四極大分の発行

十月に「四極大分」No.二十九を発行した。
　巻頭文は、新支部長に就任した髙野浩子さん（大34）の新任の挨拶を掲載した。
　又、三期六年大分支部長を務められた髙井道晴さん（大21）の退任の挨拶を掲載した。
　好評の「四極鼎談」は大学十八回生四人にご協力をいただいた。
・二十頁
　部数：一九〇〇部
・配布先：支部会員、職域企業、職域支部、全国各支部、経済学部

母校訪問ツアー

四．会員拡大の為の活動

　一〇〇周年募金者のうち、大分市・由布市在住の方々二一二名の方々に呼びかけたこと等により、新たに十六名が加入した。（令和五年度も実施した結果、現在十七名が新規会員となっている。

五．令和五年度事業計画（概要）

一〇〇周年後の大分支部運営について

①新型コロナウィルス感染症の二類相当から五類への移行決定を受け、「学生と先輩との交流会」や「職域交流会」など、まずは、大分支部の基盤となる各種交流会事業の再開を目指す。
②親睦会事業については、若い世代や会員家族にも呼びかけ幅広い層からの参加を促進する。

四極会大分　No.29

③四極会本部「一〇〇周年記念募金基金創設委員会で提言された「四極会の活性化に向けたチャート図」を参考にしながら大分支部の運営の中に取り入れていく。
　例一）現会員・学生のメールアドレスの整備により、会員間交流の活性化を図る。
　例二）全国支部の中心的存在である大分支部として他支部との交流を図る。（リモート会議等）

各種交流会を開催し、会員相互交流の場を提供

①「職域交流会」の開催：職域企業や大分市内の職域支部等に現役で勤務する会員の交流を図る。
・日時：令和五年九月六日（水）〈開催済み：詳細は四極会ホームページ大分支部からのページを参照〉
②「学生と先輩との交流会」開催：経済学部学生と市内の企業や役所に勤務する先輩とが意見交換。
・日時：令和五年十一月一日（水）十九時より開催予定
・場所：J：COMホルトホール大分

③女性部会「桃優会」のバックアップ
・女性部会への参加を働きかける等、バックアップを心掛ける。
・九月二十二日（金）に実施済み（詳細は「世代間交流のコラム」を参照）

『四極大分』No.三十号の発行

・七月より原稿を募集、三回の編集委員会で検討の上、十月下旬発行予定
・十八頁、一九〇〇部配布予定→職域へアンケートの結果、ITデータでの配布又はホームページへの掲載で構わないということになったので、職域への配布数を大幅に削減する。（紙資源の削減：四極会本部のスローガン「SDGs」への取組みの一環

各種親睦会の開催

①ゴルフ大会：
・令和五年四月二十六日（水）に第五十三回ゴルフ大会を実施済み（詳細は四極会のホームページの大分支部のページ参照）
・十一月六日（月）「大分東急ゴルフクラブ」にて秋の恒例の第五十四回ゴルフ大会を開催予定（詳細は四極会のホームページの大分支部のページ参照）

第53回ゴルフ大会

②登山会：今年度は中止
③囲碁大会／④麻雀大会／⑤歩こう会（日時未定）
⑥芸術文化祭「自遊展」については、これまで一〇〇周年記念事業において相応な役割を果たしてきた。一〇〇周年後は、自遊展幹事会の意見を踏まえ、新たな幹事体制を整えると共に、今後の在り方を検討するため、当分の間、充電期間を置くこととする。
尚、親睦会特別会計は、令和五年度末を以て繰越金を一般会計に繰り入れして、令和六年度より廃止とします。

理事会・総会・懇親会

一．大分支部理事会

令和五年四月二十四日にセンチュリーホテル「桐の間」で、高野支部長以下二十五名の役員が集まり、令和四年度事業報告及び決算、令和五年度事業計画及び予算を審議し、総会に提案することが承認されました。

二．大分支部総会

令和五年六月十四日（水）十八時よりトキハ会館「カトレアの間」にて開催されました。
議案は、執行部の提案どおり承認されました。
尚、総会で承認された議案は、四極会ホームページの大分支部のページに掲載しています。
・令和四年度事業報告と令和五年度事業計画は「事業計画のページ」
・令和四年度決算、令和五年度予算は「会計報告のページ」

三．大分支部懇親会

・令和五年六月十四日（水）十九時よりトキハ会館「ローズの間」にて対面での懇親会が四年振りに開催されました。
・参加人数は職域／学生／来賓合わせて百十六名と盛況でした。
・先輩・後輩／異業種との交流の場を提供できました。

大分支部総会

大分支部懇親会

親睦会だより

ゴルフ大会

秋の四極会ゴルフ大会

・日時：令和四年十月十四日
・場所：大分東急ゴルフクラブ
・参加者：二十三名
・成績：（優勝）土森　武志さん（大14）、（準優勝）大野　千代喜さん（大12）

世代間交流

山水会

会長　加藤　英彦（大学14回）

第一五二回山水会

開催日時：令和四年七月二十日（水）十八時三十分～
場所：ソレイユ三階　花邨「久住の間」
出席者（敬称略）：
山口（大10）、足立（大12）、相良（大12）、帆足（大13）、加藤（大14）、衛藤（大14）、塩月（大14）、高橋（大15）、三ヶ尻（大15）、丸井（大16）、柴田（大17）、衛藤晟一代理平松（大18）、岩尾（大20）、高井（大21）、野尻（大24）、三浦四極会会長（大24）、高野大分支部長（大34）、大園（大34）　以上十八名

母校一〇〇周年事業を六月二十五日に終了したが、諸種の事情により全体懇親会は中止となった。

その一か月後の七月二十日に「山水会」の七月定例会を開催した。

一〇〇周年を機に四極会の人事が刷新され、新しく会長に就任した三浦洋一氏と同じく大分支部長に就任した高野浩子氏の二人を招いて第一五二回「山水会」を開催した。

司会進行は「山水会」事務局丸井氏、加藤「山水会」会長の挨拶の後、三浦四極会会長・高野大分支部長より自己紹介を兼ねたご挨拶があった。

今後の四極会活動への思い入れや抱負等熱く語っていただいた。

さらに令和四年四月の例会で幕を閉じた「成和会」より「山水会」へ合流した山口勇さんより今後宜しくとのご挨拶があった。

「山水会」より上の方々の会「金曜会」・「成和会」がそれぞれ解散したこととなった。

乾杯の音頭は前大分支部長の高井道晴さん、そしてフリータイムでは帆足「山水会」前会長・柴田事務局長・大園事務局主任・衛藤晟一秘書平松氏、そして相良四極会名誉会長の皆様よりスピーチをいただき、帆足「山水会」前会長の締めの挨拶にて終了した。

第一五三回山水会

開催日時：令和五年五月十七日（水）十八時三十分～
場所：大分センチュリーホテル一階「カテリーナ」
出席者（敬称略）：
山口（大10）、宗（大13）、帆足（大13）、加藤（大14）、三ヶ尻（大15）、丸井（大16）、柴田（大17）、後藤（大17）、衛藤晟一代理平松（大18）、岩尾（大20）、大島（大24）、阿部（大26）、麻生（大32）、大園（大34）、山路（大44）　以上十五名

五月八日に新型コロナウイルスが「五類感染症」に移行されたことにより、世の中の規制が緩和され会合も開かれるようになった。

前回より十か月振りの「山水会」開催となった。

司会進行は「山水会」事務局丸井氏、加藤「山水会」会長の挨拶に於いて去年七月以来の開催になったこと及び今後の「山水会」の活動について大分支部と「山水会」との位置づけ等の提案があった。

先ず、今年四月の地方選挙にて大分県議会議員当選七回目を果たした麻生栄作県議より当選お礼を兼ねてのご挨拶があった。見事上位当選を果たしての良い結果の報告であった。

乾杯の音頭は山口さん（大10）。

続いて四極会事務局に新しく就任された大島事務局長（大24）及び阿部事務局次長（大26）よりそれぞれ自己紹介を兼ねたご挨拶があった。それぞれの仕事の抱負や今後の取組み等を語っていただいた。

フリータイムスピーチを行って参加者一人一人より近況・悩み・遊び・時事問題等ゆっくりと思い思いを語っていただく時間を取った。

参加者が十五名と少人数であったが、それだけ皆様の思いや悩み等じっくりと語り合うことができ、大変有意義な時間となった。

次回は年末の忘年会での再会を約束して散会となった。

旦桜会

四極会事務局
阿部　通正
（大学26回）

久し振りの「旦桜会」

令和二年十一月以降新型コロナの影響で中断していましたが、第五十二回「旦桜会」を令和五年八月十八日に開催することができました。

久し振りということもあり、参加者は前回より多い二十二名でした。

先ず、甲斐幸丈会長（大21）による「言霊と我が人生」という題材で講演がスタートしました。地方銀行としては先駆けのベンチャーキャピタル設立に至る経緯・創業間もない企業を上場企業にまで育て上げる等の成果が出たことや親会社である大分銀行との資金獲得等の折衝苦労話を中心に講演いただきました。

次に、甲斐会長・三浦四極会会長（大24）・大島四極会事務局長（大24）のご挨拶に続き、津行孝充副会長（大26）の音頭による乾杯で懇親会が始まりました。

その後、お互いに席を立って酒を注いで大いに歓談しました。

歓談半ばに参加者で一番若い小春和幸さん（大29）を皮切りに全員が近況を話しました。

全員のスピーチが終わって暫く懇談。その後、高野浩子大分支部長（大34）の一本締めで会はお開きとなりました。

次回は六十数名のメールアドレスリスト者を中心に退職後、職域支部／職域企業を外れ一般会員対象者となった方への呼びかけをして参加者の増加を目指したいと思います。

昭平会

昭平会事務局代行
山田　昌弘
（大学43回）

「赤いドレス」

「来年私は昭平会で赤いドレスを着るわ！」という号令を彼女が発した時から着々とプロジェクトは始動しました。このプロジェクトの最大のキーマンは会員の坂田孝行（大44）君でした。彼は、大分市下郡にある結婚式場『マリーゴールド迎賓館』の総支配人です。大号令が発せられた時に目の前にいたので彼は『ハイ！』としっかり受け止めるしかありませんでした。年末年始と彼から確認の連絡が入ります。「開催日はいつになりますか？」などなど。会場と赤いドレスを準備する担当ですから責任重大です。しばらくして本人も試着に試着を重ねて、ドレスに合う体型づくりに励んだそうです。私と櫛野誠治（院）事務局と出席者の確認など準備を重ね五月二十日を迎えました。

夕暮れまだ明るい陽射しが窓から入る中、会場はすっと暗転、彼女のお気に入りの曲が流れ、会場内階段の上に鮮やかな赤いドレス姿の女性がスポットライトで眩しく映し出されました。その女性は高野浩子（大32）幹事代行でした！たくさんの拍手で迎えられ、木下哲郎（大32）会長が愛を込めて花束を贈呈し、会場の雰囲気は最高潮となりました。

一年越しのプロジェクトは大成功でした。高野さん坂田さんの準備力最高でした！

華やかな雰囲気でスタートした昭平会ですが、しっかり学びの機会もあります。会員の池田至郎（大37）さんに「インボイス制度について」ミニ講義をお願いしました。

昭平会は六・九・十一・二月第二水曜日を開催日としております。コロナ禍はオンラインでコミュニケーションを図ってきました。これからも相互研鑽しながら会を盛り上げていきます。

昭平会は大学三十一回生以降の四極会員が対象ですが、諸先輩方から「昭平会の次世代の会を立ち上げてくれ！」という指令を受けております。これも本格的に実行していかなければなりません。大学四十一回生以降の仲間たちに声掛けをしながら今年度中の立ち上げが出来ればと考えております。

四極青雲会

四極青雲会事務局
木本　英光
（大学25回・院1回）

四極青雲会の活動

四極青雲会は、大分大学大学院経済学研究科の同窓会（現役院生も会員）です。平成二十二年四月に設立されました。大学院では社会人や外国人留学生も多く、青雲会では、そうした年齢や学歴・職歴、国籍が違ってもフラットに交流できる場としての会を目指しています。

会の活動は五月の総会、年二回の例会、総会・例会での懇親会、それと三月の会報「青雲」の発行です。なお、これらの活動については四極会のホームページに掲載していますので、ご覧になって下さい。

総会では会や母校に関係する方々を招待して記念講演を行います。今年の総会では、別府市副市長となる前の阿部万寿夫氏から「温泉県おおいたの基礎知識」と題して講演をしてもらいました。また、今年の総会では役員（任期は三年）改選があり、会長に伊藤隆啓氏、副会長に阿部万寿夫氏、高橋幹雄氏、事務局長に木本という体制になりました。青雲会立ち上げから会長及び事務局長としてけん引してきた岩尾明氏は顧問に就任いただいて引き続き助言・指導を頂くことになりました。

年二回の例会は経済学研究科との共催で「イノベーティブ経済セミナー」として実施しており、大学教官や各界から多彩な講師の方を招き、一般の方々にも公開して開催しております。去る八月十九日（土）十七時から、J：COMホルトホール

大分サテライトキャンパス講義室で開催された今年度一回目のセミナーの概要は次の通りです。

今回は経済学研究科の「ビジネスパーソンのための経営サマースクール」（三回実施予定）の第一回目のセミナーとして実施することになりました。講師は大分大学経済学部経営システム学科講師であり合同会社ATDIの共同代表の碇邦生氏で、「地方変革のために必要な人材育成の二つの能力～リーダーシップ開発と創造的自信～」と題して講演いただきました。イノベーションを興すことは特定の天才の創造性に依存しなくても集団的天才（チーム）における能力開発から促進することができる、そのチームにおけるリーダーシップのあり方、創造的自信は小さな成功体験の積み重ねからという貴重なお話をお聞きすることができました。

参加者は、企業からの参加者九名を含めて青雲会や四極会の会員、教官・学生合わせて二十四名でした。講演のあとはお楽しみの懇親会です。講師を囲んで留学生三名を含め十二名で懇親を深めました。（写真参照）

第二回目の定例会（セミナー）は来年の一～三月の間になりますが、皆さんも是非参加して知見を深めながらいろいろな人との交流を楽しんでもらいたいと思います。

十月には日本政策研究会にも講師として招待されております。

最近は行く先々でLGBT法案の事をよく質問されます。各々の専門家を招き研修を致しましたが西欧諸国はキリスト教で人類のはじまりは、アダムとイブであり教義に反することは許されないということで死刑や火刑が長く続き、現在、贖罪の意味も込めて、LGBT法案を進めていること（イスラム世界では今も厳格に教義を守っていること）。その中で、小学校・中学校の精神的に不安定な期間にLGBT教育を行うと良くない結果が出ていること等々で米国でも州によって、反対の州もあり、自国の文化に混乱が起きない法案とすることが検討されました。（学校教育においてLGBT推進運動家が勝手に教育できないように歯止めをかけています。）

コロナ後の中小企業の支援対策・今も続くウクライナ―ロシア紛争・それに伴う物価の上昇・台湾有事を起こさない為の中国への外交力と難問は山積しております。日本の安心安全、そして地方の創生を念頭に全力を尽くして参ります。

四極会皆様の今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を心よりお願い申し上げますとともに皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げましてご報告とご挨拶とさせて頂きます。

国政だより

近況報告

参議院議員
衛藤　晟一（大学18回）

四極会の皆様、ご健勝の事と拝察申し上げます。日頃からご支援・ご指導を賜り心より感謝申し上げます。

令和五年　私は現在、内閣委員会・北朝鮮の拉致問題特別委員会・憲法審査会に所属しています。

本年三月の参議院予算委員会で「少子化対策」について、岸田総理に質問させて頂きました。私自身が担当大臣の時を含め、ずっと提案してきた案件なので、政府の政策としてより具体的に施行ができるように質問しました。（えとうせいいちHPより視聴できます）

通常国会の一五〇日間の会期が終了し、コロナが第五類に移行したことに伴い、各種行事が再開され大変忙しい毎日を送っております。

九月には「創生日本」の長崎研修のパネラーとしてご招待頂きました。今は亡き安倍元総理とともに政策集団を創った目的や経緯等を話させて頂きました。

県政だより

孫の世代への責務

大分県議会議員
麻生　栄作（大学32回）

春の統一地方選にて、市議選三回、県議選七回、計十回連続当選を果たすことが出来ましたのも四極会の皆様のご支援・ご指導のお陰です。御礼申し上げます。また、同窓会県議六名が誕生し、大学とも協力・連携の上、山積する地域課題解決に向けて努力してまいる所存です。

ところで、昨年末に孫が二人相次いで、誕生しました。

双子の息子たちを育てた経験も若かったから出来たと当時の苦労を思い出す日々です。同居ではありませんが、近居だからできる子育て支援を心掛けています。

政府は異次元の少子化対策を掲げるもののピントがずれていることは拭えません。本県の昨年度出生数は七千人を割り、少子化は深刻の極みです。

「子ども子育て無償社会」として「国民皆保育」「国民皆支援」、税制度としての日本版N分のN乗方式の導入、労働法制としての法定労働時間六時間化、教育制度としてのICTで個別最適な公教育などの新たな取り組みが検討され始めております。

カギを握るのは、「縛られた日本人の社会規範意識」の意識改革であり、特に男性の育児・家事参加とも言えます。掃除・洗濯・料理などをどれだけ男性が参加するかが問われています。ここで、掃除は「ルンバ」、洗濯も「全自動洗濯機」、料理は、「レンジでチン」、皿洗いは「食洗機」などの有無で、ずいぶん違います。他にも紙おむつのコストもばかになりません。基礎自治体によっては、子育てクーポン券によって支援しているところもあり、喜ばれているようです。男性の家事参加の効率化の「三種の神器」など、具体的現物給付クーポン券の発行などを支援し、少子化対策の実効を上げ、強力に子育て世帯を応援して参ります。「寛容で健やかなおおいた」をめざし、出来ない理由よりできる方法を追求し、小さなことからコツコツと積み上げ、孫世代への責務を果たしてまいります。

持続可能でさらに発展する大分へ

大分県議会議員
木田　昇（大学38回）

お陰をもちまして、無事に県政の三期目へ歩を進めることができました。四極会の様々な分野・職域でご活躍しておられる同窓の皆様から、ご支援をいただきましたことに感謝と御礼を申し上げます。

さて、今回の知事選により佐藤樹一郎知事が新たな県政のリーダー役として選ばれました。大分市の首長を務めた行政経験をもとに、安全で安心して暮らせる大分県づくりを進めていただきたいと期待するものです。

県政の課題は多くありますが、まずは人口減少・高齢化への対応を急がなければなりません。大分県の人口は十年前から八万人以上減少し、今年ついに一一〇万人を割り込みました。高齢化率は三十三％を超過し、こちらも十年前から五％以上増加しています。県内の大部分を占める過疎地では、学校・病院などの公共施設や福祉サービスなどの社会インフラをどうやって維持するかが大きな課題です。

二つ目は、コロナ後の地域・経済の再活性化についてです。三年以上に及ぶコロナ禍によって県経済、県民生活は大きく傷つき、加えて物価高騰も続いており、コロナ後の社会像を見据えながら、地域・経済振興策を加速させなければならないと考えます。

三つ目は、防災・減災対策です。近年、様々な大規模自然災害が全国各地で頻発し、本県でも度重なる豪雨災害に見舞われ、残念ながら本年も犠牲者が生じました。また、南海トラフ地震の発生が近いと言われるなか、多くの県民が不安に思っているのではと感じており、ハード・ソフト両面での備えに万全を期さなければなりません。

母校経済学部におかれては大胆な学部改組に着手され、多様化・複雑化する社会的諸課題の解決を図るべく人材育成に取り組まれると聞いており、大いに期待しております。

私は、これからも未来への大分のため研鑽・努力を重ね、山積する課題解決に向けて全力で頑張っていきたいと思います。四極会の皆様のご健勝を祈念するとともに、引き続きご指導とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

市政だより

地方議会の役割・議員の職務等が地方自治法上で明確化されました

全国市議会議長会相談役
大分市議会議員
野尻　哲雄（大学24回）

四極会大分支部会員の皆さん、ご無沙汰しています。

強烈な暑さの中、熱中症対策とコロナ禍に十分気を付けていることと存じます。コロナも五類になりましたが、依然として感染力も強く七月以降、感染者が多く出ている模様です。私も遂に感染しました。マスクと手指消毒はまだ欠かせません。

さて、標記の件について、令和五年四月二十六日、地方自治法改正案が参議院本会議で可決・成立し、地方議会（県議会・市議会・町村議会）の役割や地方議員の職務等が地方自治法上で明確化されました。

地方議会の役割等に係る地方自治法の規定について、法改正前は、「地方自治法第八十

九条に、普通地方公共団体に議会を置く。」と明記されているだけで、議員の位置づけ等はありませんでした。

今回の改正によって、「第八十九条普通地方公共団体に、その議事機関として、当該普通地方公共団体の住民が選挙した議員をもって組織される地方議会を置く。②普通地方公共団体の議会は、この法律の定めるところにより当該普通地方公共団体の重要な意思決定に関する事件を議決し、並びにこの法律に定める検査及び調査その他の権限を行使する。③前項に規定する議会の権限の適切な行使に資するため、普通地方公共団体の議会の議員は、住民の負託を受け、誠実にその職務を行わなければならない。」と規定されました。

この改正は、三議長会（県議会議長会・市議会議長会・町村議長会）が長年にわたって、国会及び国会議員に要望してきた課題でようやく実現いたしました。

地方議員の処遇に関する今後の要望については、一点目は、厚生年金制度への地方議会議員の加入実現であります。これは、議員年金が破綻・消滅したことにより、会社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、老後の生活や家族を心配することなく選挙に立候補できる環境を整備するため、厚生年金へ地方議員が加入できる法整備を図る要望です。二点目は、小規模市町村における議員報酬の引き上げです。小規模市町村の議員は、概して議員報酬の水準が低く、経済的に恵まれた議員は別として、兼業しなければ生活困難に陥りかねない実情にあります。一方、議会の役割が高まるに伴い、小規模市町村においても議員活動が年々増大、その内容も高度化・専門化し、現実には専業として活動せざるを得ない議員も多く、議員のなり手不足の一因になっています。

先の統一地方選挙において、全体としては、低投票率や議員のなり手不足等の課題が、依然、深刻な状況となっています。

多様な人材の地方議会への参画促進に向けた制度改正や環境整備が進められれば、優秀な若者や女性、会社員など多様な人材が地方議会議員に積極的にチャレンジして、地方分権の時代にふさわしい活力ある地方議会の創出につながると確信しています。

今後も全国市議会議長会の一員として議会の権能強化に向けて頑張って参ります。

職場だより

「これからも一歩ずつ前へ」
創立一〇〇周年の大分信用金庫（だいしん）

大分信用金庫　総務部
三浦　昌弘　（大学49回）

四極会大分支部の皆様、はじめまして。大分信用金庫総務部の三浦昌弘と申します。

令和四年十月以降、およそ三年に亘って世界を曇らせた新型コロナウイルスの流行が収まりを見せたことから、コロナ禍以前の日常がようやく戻ってまいりました。私自身、今後は四極会の皆様にお会いし、交流できる機会が増えることを今から愉しみにしておりますが、先立ってこの場をお借りし、私が勤務する大分信用金庫のことを少し紹介させていただきます。

大分信用金庫は第一次世界大戦後の大正十一年十一月十四日、初代理事長である「山上猛虎」が産業組合法のもと、「有限責任大分信用組合」を設立し事業を開始しました。戦後の昭和二十六年、信用金庫法施行に伴い「大分信用金庫」に名称変更後、昭和四十六年に本店を現在地（大分市大道町）へ移転。現在、四市二十拠点で営業をしております。去る令和四年十一月十四日に創立一〇〇周年を迎え、令和五年六月二十八日には信用金庫の会員を代表する、総代の方々とお祝いをすることができました。

近年、私たちを取り巻く社会環境の変化は速く、また、多くの場面で多様化が進んでいますが、当金庫はそれらに対応するべく、働き方改革やDXへの取組みを積極的に行っております。平成二十九年、女性職員のみで組織する「女性活躍推進委員会」を発足し、結婚や出産等のライフイベントを理由とする退職や雇用形態の変更が生じない体制を整えました。令和四年には「子育てサポート企業」として「くるみん認定」を受けましたが、より家庭と仕事が容易に両立できる職場環境の実現を目指しております。お客様支援については、信用金庫の中央機関である信金中央金庫が提供するビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」や、当金庫職員との財務分析データの共有等を一括する「ケイエール」等を活用して新時代への対応を支援すると同時に、本部の本業支援専担職員が営業店の若手職員とお取引先へ同行訪問し、伴走支援のノウハウを伝授する取組も展開しています。

一方、社会環境の変化に対応しながらも、創業時の想いや「だいしん」らしさ、やるべきことは変わることなく、基本理念である「①地元産業の発展に寄与する、②利益を得たいが他人の利益を先にする、③内容を堅実にし待遇の優れた金庫とする、④五訓精神の徹底を期する」を今後も全役職員で実践していき

左が本人

たいと思っております。

結びとなりますが、創立一〇〇周年を迎えた大分信用金庫を、次の百年に向けて牽引しているのは、大分大学経済学部第三十六回卒業生の木村浩樹理事長です。個人的感情で恐縮ですが、自身も通った多くの素晴らしい思い出が残る学び舎から、金融機関の経営トップが輩出されたことに誇りを持って、より一層、大分信用金庫が「地域で頼りにされる金融機関」となるよう精進していく所存です。皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「不動産を通じた社会課題解決型企業を目指して」

株式会社豊後企画集団お部屋ラボ事業部

松川　陽樹（大学61回）

株式会社豊後企画集団お部屋ラボ事業部の松川と申します。

いつも四極会の皆さまには大変お世話になっております。昨年は第十五回四極会寄附講義「会社研究」にてお部屋ラボの紹介をさせていただきました。今回の『職場だより』を通じて、より多くの方に弊社のことを知っていただけましたら幸いです。

弊社は、不動産管理事業をコア事業として、不動産仲介、建築、学習塾、旅行、家賃保証、飲食など様々な事業を展開しております。その中でも、地域の課題解決のための取り組みを「地域ソリューション事業」と位置づけ、保護猫団体と連携した猫と暮らすための賃貸アパート「Labo's Cats with WINDOM」や、朝食無料サービスや学割価格でランチ・スイーツを提供する「Labo's Kitchen」、家具家電・朝夕食事付き、管理人住み込みの学生専用マンション「Labo's College 大分大学前」などを展開しております。

「Labo's Kitchen」および「Labo's College 大分大学前」は、旦野原エリアの食生活・住環境について、親御様から寄せられる不安の声から起案いたしました。「Labo's Kitchen」では、弊社が管理する物件に入居中の学生に対して朝食無料サービスを提供しております。「Labo's College 大分大学前」では、管理栄養士監修の朝夕食を用意しております。食堂での交流や各種イベントの開催により、学生生活の思い出作りや、コロナ禍により低下した学生のコミュニケーション能力の向上に資するのではないかと考えております。また、家具家電付きサービスは、入居者の入退去時の引越し費用や搬入作業を軽減するだけでなく、退去時の家具家電の廃棄量を減らすことでSDGsにも貢献しております。

このように、弊社の存在意義は、多角化事業とその組み合わせにより世の中の課題を解決することにあります。入居者サービスを多角化事業と結び付け、大分県の異業種の方と入居者の方とのサービスインフラを構築することにより、弊社にしかできないサービスを提供し、住生活総合サービス業として地域に必要とされる企業を目指してまいります。

さらに、多様化するライフスタイルに対応するため、働き方改革にも取り組んでおります。不動産業界では大分県内初の週休二日制の導入やリモートワークの活用、DX推進による作業効率化などの取り組みを通して、社員一人ひとりが集中して業務に取り組める環境を整えております。

本年四月には創業四十五周年を迎え、「不動産を通じた社会課題解決型企業」として地域社会に今まで以上に貢献できるよう、そして不動産業界の地位向上を目指して日々邁進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

新副市長紹介

阿部　万寿夫

（大学32回、院8回）

自らの浅学非才も顧みず、今年六月に別府市副市長に就任しました、大学三十二回の阿部万寿夫です。思いもよらぬ大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。

今回の副市長人事について（当の本人も含めて）「なんで万ちゃんなんやろう？」と思われている方も多いと思います。と申しますのも、私が人に自慢できるのは「とにかく明るく前向きなこと」と、「人的ネットワークの広さ」くらいのものですから。

四極会で別府の副市長と言えば、皆さん思い起こされるのはやはり石川顧問のことだと思います（当時は「助役」でしたが…）。実は、別府市役所には今でも「石川伝説」なるものが伝わっており、市職員の方々に「石川助役が…」と話をすると背筋がピンと伸びると言うのです。そんな都市伝説にまでなるような指導力も博学な知識も私にはありません。昨年三月に大分県庁を定年退職した際にも、「大した能力も無いのに、大勢の皆さんに助けられて無事に定年まで勤めあげることが出来た。本当に運の良い幸せ者だ」と自分の半生を顧みたものです。

自分は、確かに「人の運」に恵まれており、困った時には必ず誰かが助けてくれました。特

に、四極会をはじめとした異業種の友人から窮地を救っていただきました。自分では答えを見つけられなくても、ヒントを持っている友人から助け船を出して貰ってばかりでした。「今度ばかりは万事休す」と覚悟を決めた時でも、最後の最後には、誰か彼かから救いの手を差し伸べていただき、難局を切り開くことが出来ました。本当に感謝に堪えません。

そんな私ではありますが、「与えられた仕事は断らない」のが信条です。副市長の大役も、取り柄である「明るく前向き」に取り組んで、「人的ネットワークを駆使して」（みんなの力をお借りして）、長野市長をお支えしながら、難題課題を解決し、別府市の発展を目指していく所存です。

勿論、四極会のお仕事も手抜きなくやって参りますのでご安心ください（笑）

今、この会報「四極大分」をご覧の貴方にも、そのうちに私から連絡をさせてもらうかも知れません。その際には、嫌な顔をせずにお知恵とお力をお貸しください。何卒よろしくお願いいたします。

「こんにちは。別府市副市長をしています大学三十二回の阿部と言います。実は、ちょっと相談に乗ってほしいことがあるんですが…」。

社会人一年生のプロフィール

①所属部署又は支店名　②出身高校　③ゼミ名
④大学でのクラブ、同好会　⑤大学の思い出　⑥趣味
⑦会社での抱負

㈱オーイーシー
首藤　日南（大学71回）

①公共ソリューション部
②大分県立大分商業高等学校
③加藤典生ゼミ
④軽音サークル
⑤大学ならではの経験や出会いがあったことです。特に、ゼミ活動ではコロナ禍で様々な制限があった中、友人と協力しながら、楽しく活動することが出来たと感じています。
⑥楽器演奏（ドラム）・音楽鑑賞・グルメ
⑦まずは業務に慣れることから、一歩ずつ着実に成長していきたいです。そして、一日でも早くオーイーシーの戦力となれるよう、精進してまいります。

㈱大分銀行
池原　泰史（同）

①ソーリン支店兼大分駅前支店
②長崎県立長崎北陽台高等学校
③金珍奎ゼミ
④バドミントンサークル、自治会
⑤友人と旅行やキャンプに行ったり、夜通し麻雀したり飲んだり自由な時間が多い大学生だからできることをできる限りやったことです。
⑥バンドのフェスに行くこと、温泉巡り、旅行
⑦今は業務を覚えることで精一杯ですが、一度やったミスを二度としないようにして、できることを増やしていきたいです。会社に貢献できるように自己研鑽にも励みたいと思います。

大分県庁
原田　知佳（同）

①河川課
②長崎県立佐世保北高等学校
③宇野真人ゼミ
④よさこい部
⑤日本酒工場でのボランティア。自分が一番好きな銘柄の蒸米からラベル貼りまで体験しました。新商品の開発に向けて候補のお酒を飲み比べ、酔っ払って「全部美味しい！」となったのもいい思い出です。
⑥川や滝を見ること
⑦県民の方からの問い合わせがあったら、何でも答えられるような河川法のエキスパートになりたいです。まずは県が管理している川の名前と位置を全部覚えます！

大分市役所
安藤　由佳（同）

①観光課
②大分県立別府鶴見丘高校
③林ゼミ
④バスケットボールサークル
⑤友達と過ごした時間が一番の思い出です。同じ趣味を持った友達ができて、一緒にギターを弾いていた何気ない時間が私の宝物になりました。
⑥サウナ、御朱印集め、バドミントン、ライブ鑑賞
⑦わからないことも多く大変な時もありますが、先輩を見習って一人前になれるよう頑張りたいと思います。観光課の職員として、大分の魅力をもっと発信し、大分を盛り上げていきたいです。

㈱豊和銀行
井上　雄介（同）

①大道支店
②宮崎県立宮崎商業高等学校
③米村ゼミ
④軟式野球サークル
⑤友人と過ごした日々です。コロナが落ち着いてからは友人と旅行したりなど、楽しい思い出をたくさん作ることができました。
⑥音楽鑑賞、温泉
⑦入行して業務に慣れることに精一杯で、先輩方に迷惑をかけてしまうことが多いですが、まずは業務に慣れることを優先して、一日でも早く一人前の銀行員になれるように頑張りたいと思います。

俳句

和田　こうせい（大学2回）

海霧深く分けゆく舳先佐渡霞む

渓谷に心み渡りゆく虫時雨

残暑なほいつも遅れしバスを待つ

木山　広喜（大学10回）

塗装工水玉柄のお揃いで

軒を仰て視線は刷毛に

続けきし抗がん治療を断りて

遺族より届く自筆のお別れ

胡座（あぐら）して留学の娘は箸握り

「オサキニ」と笑み茶菓子戴く

短歌

小山田　熙光（大学10回）

暮れなずむ八十路半ばの老体に

鞭打つが如歩行に励む

梅雨空にアジサイの花咲き誇り

まぢかに迫る灼熱の夏

目覚むれば薄暗き中ここち良き

カエルの合唱聞こえ来るかな

谷　庄一郎（大学11回）

見おろせば風爽やかな春の海

記憶のなかの首雄のしらべ

呆けすこみ純な心に満たされる

負いししがらみ引き潮のごと消ゆ

芽吹く頃生きる力は鮮やかに

自然は決して怠けていない

1F レストラン カテリーナ
Tel.097-532-8807（直通）

carpe diem「今を楽しむ」

ブラウンを基調とした落ち着いた雰囲気のレストラン。ランチはステーキや彩り豊なワンプレートなどの洋食メニューを取り揃えております。ディナーには、季節の食材を使用したスペシャルディナー（予約制）飲み放題付きでゆっくりとお愉しみいただけます。

2F 本格中国料理 李白
Tel.097-537-4613（直通）

享受歴史「歴史を楽しむ」

本場の味を受け継いだ大分を代表する本格中国料理の名店。特上フカヒレや北京ダック、あわびなど豪華食材を使った豊富なメニューから、大海老のチリソースや牛ヒレステーキなど、お得にお愉しみいただけるランチセットもご用意しております。

会議・ご宴会
Tel.097-536-2778（直通）

会議やご宴会も承っております。お気軽にご相談ください。

大分センチュリーホテル
〒870 0021 大分市府内町1丁目4番28号
TEL: 097-536-2777（代表）

川柳

次森　久雄（大学23回）

登り来し切株山に秋日照る
シャツ脱ぐ肩にそよ風触るる
なだらかな玖珠の山々見はるかす
一天曇なき切株山頂

城元　保昭（大学7回）

一歩ずつ夢が遠のく余命表
とっさの機転詐欺を見破り感謝状
見知らぬ二人ＳＮＳでゴールイン

本多　廣（大学12回）

過疎の里お盆参りに三世代
花芙蓉酷暑の庭で競い咲く
帰省待つ勉学中の孫娘

八鹿 TM

井上義彦（大11回）
熊谷光顕（大34回）
萱島周也（大53回）
清水優太朗（大60回）

時代の"おいしさ"を、あなたに。
八鹿酒造株式会社
〒879-4692 大分県玖珠郡九重町右田3364番地
TEL.0973-76-2888 FAX.0973-76-3071
ホームページ http://www.yatsushika.com

大分支部からのお知らせ

1.職域交流会を開催しました。

日時：令和五年九月六日十八時三十分～

場所：大分市府内町大分センチュリーホテル「桜の間」

令和五年度「職域交流会」が四年振りに開催されました。

大分支部が、大分支部に属する職域企業の他、大分市内に七つある職域支部に声をかけて毎年実施していましたが、新型コロナの影響で三年間中断してきました。

本会は現役バリバリの会員が集まって親睦を深めます。

同じ大分市内で勤務していても職場の違う同窓生との交流の機会は少なく、開催を楽しみにしている会員も多数です。

本年度は十九の組織から六十一名が参加しました。

又、今年度は三組織が新規に参加されました。

参加組織（簡略表記）

・職域支部：大分銀行、豊和銀行、大分合同新聞社、大分大学、ジェイリース

・職域企業：大分朝日放送、オーイーシー、大分カード、大分交通、大分信用金庫、大分トヨタ自動車、大分放送、佐伯建設、大宣、鶴崎海陸運輸、テレビ大分、豊後企画集団、宮崎銀行大分支店、四極会事務局

交流会は阿部通正事務局次長（大26）によって進められました。

初めに髙野支部長（大34）から交流会の意義等に触れた主催者挨拶、続いて御来賓の三浦洋一四極会会長（大24）から簡潔なご祝辞を頂きました。

乾杯の音頭は職域企業を代表して大分銀行取締役で職域支部の長平川浩行さん（大34）が執り行いました。

懇親会は、世代の近い人が同席になるように配された九つのテーブルに分かれて進められました。同じテーブルには同一職場の会員はいないように配席し、若い会員ほど初対面の人が多く、方々で名刺交換する姿も見られました。時間の経過と共に寛いだ雰囲気になり、談笑の輪が広がりました。

終盤になり、各組織のＰＲタイムでは、それぞれ代表が壇上に立って自己紹介や業務の案内、職場四極会の活動状況、四極会員としての抱負など自由にスピーチしました。二分の制限時間を超過してしゃべる人、どんぴしゃりにおさめる人、ベテ

ラン社員と多種多様なスピーチに会場が湧きました。

スピーチした会員（敬称略）

古田圭二（大42・大分銀行）、黒田宇一郎（大64・豊和銀行）、小林滋（大52・大分合同新聞社）、渡邊博子（大36・大分大学）、衛藤秀樹（大28）岩丸桃子（大60）板井優貴（大63）二宮瑠美（大65）清家優輝（大67）以上ジェイリース、佐保洋子（大38・大分朝日放送）、江藤晃彦（大58・オーイーシー）甲斐信次（大40・大分カード）、白川憲一（大31）梶原慧二（大65）以上大分交通、三浦昌弘（大49・大分信用金庫）、矢野雅俊（大61・大分トヨタ自動車）、三浦展裕（大38・大分放送）、犬山達乃介（大70・佐伯建設）、小河裕宣（大33・大宣）、鶴大和（大62・鶴崎海陸運輸）、池邉強（大29・テレビ大分）、松川陽樹（大61・豊後企画集団）、島田裕子（大57・宮崎銀行）

締めは、テレビ大分代表取締役社長池邉強さん（大29）、大分合同新聞社の小林滋さんが考案した「シワース！」で締めくくった。「シワース！」は今後の四極会関係の締めで浸透するかもしれません。

参加者の募集にご尽力いただいた職域支部、職域企業幹事の皆様、会場の設営、受付、進行に当たられた大分支部役員の皆様、有難うございました。

以上

2.先輩と学生との交流会開催のお知らせ（詳細は四極会ホームページ大分支部のページをご参照下さい。）

①日時：令和五年十一月一日（水）十九時～二十一時三十分

※軽く食事をしていただきたいので、十八時四十分までにお越しください。

※大変恐縮ですが、可能な方は十八時からの会場設営をお手伝い下さい。

（改めて事務局よりご連絡します。）

②場所：J：COMホルトホール大分三階大会議室

③会費：一〇〇〇円

※ご出席につきましては、添付しました用紙にお名前・回期・役職等ご記入の上、下記の四極会事務局へFAX又はメールにて（できましたらメールにて）

十月三十日（月）までにお申し込み下さいますようお願い申し上げます。連絡先：四極会大分支部　阿部通正

TEL：538―2462

FAX：529―6623

e-mail：shiwasu2@po.d-b.ne.jp

前回（令和元年度）のシーン事例

3.恒例の秋の四極会大分支部ゴルフ大会開催のお知らせ（詳細は四極会ホームページ大分支部のページをご参照下さい。）

①日時：十一月六日（月）九時三十七分スタート

＊九時までにご集合をお願いいたします。

②場所：大分東急ゴルフクラブ

097―529―2311

大分市大字広内字払川227―1

③会費：三〇〇〇円

④プレー代：七四〇〇円

（セルフ、食事代込みですが、ゴルフバッグの積み降ろしはセルフサービスになります。）

⑤ハンディキャップ：ダブルペリア方式

⑥組合せは幹事に一任願います。同組ご希望の方がいましたら、申込書にご記入ください。

幹事：村尾哲弘（大7）・工藤晴久（大32）・山田昌弘（大43）

⑦申し込み：十月三十日（月）までに、卒業回期、お名前、住所、電話番号を四極会事務局阿部まで電話・FAX又はメールにてお知らせ下さい。

〒870―0026

大分市金池町2―7―21

パークサイド大分駅まえ302号

TEL：097―538―2462

FAX：097―529―6623

e-mail：shiwasu2@po.d-b.ne.jp

●表紙写真の言葉

「干潟・夕陽の真玉海岸」

園田　健治（大14回）

大分県で唯一水平線に沈む夕陽が見れる海岸で、遠浅の海岸が夕陽に照らされることによって出来る干潟の縞模様がきれいで、「日本の夕陽百選」に選ばれた、人々を心酔わせる絶景である。

潮の干満による時間的な変化や、没する太陽の位置が日々少しづつ変化し、なかなか前と同じという景色は見られない。

従って何時行ってもきれいな縞模様が見れる訳ではない。訪問する場合は潮の干満（満はダメ）と、夕陽の没する方向等を事前に確認してゆくのがベター。

加えて、夕陽が沈んでもすぐに立去らないことである。光の反射等の関係で、没前よりきれいに見えることが多い。

同海岸では「マテ貝」掘りが楽しめる。砂の上の小さな穴に塩を少量投入するとヒョコッと頭を出してつかまってしまう。

（今回の写真は見なれたギンギラギンと異なる落着きのあるものを掲載して頂きました）

「お金が貯まる企業を目指すには！」

＊ 必要なのは資金繰りの改善！まず、ご相談を＊

●税務調査対策、財務監査、節税対策、各種税務相談

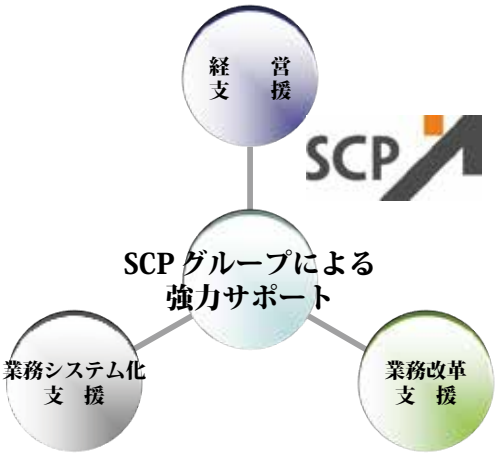
税務調査、不服申立事案をはじめとする各種税金に関する相談をお受けします。
財務（会計）周りの実地監査を受託し、問題事項の抽出、解決案をご提案します。
お客様に応じた節税対策を構築、相続財産の理想的な配分をご提案します。

●中小企業経営サポート

企業再生、財務分析、経営診断、経営計画書の作成、金融機関との折衝から
人材育成まで経営に関する相談をお受けします。
経営に不可欠な戦略、スキルアップ、社員研修等の講師を派遣します。

●M&A支援業務

お互いの要望を会計人の視点から分析し、お互いのより良い未来を構築します。
提携の公認会計士、弁護士、司法書士、行政書士、社労士との士業ネットワークによる連携により支援業務を遂行します。



税理士法人　アール
http://www.r-tax/index.html

＊大分オフィス
〒870－0953　大分県大分市下郡東1丁目6番30号
TEL097－504－7720　FAX　097－504－7721

＊東京オフィス
〒136－0073　東京都江東区北砂6丁目25番3号
TEL03－5634－0899　FAX　03－5634－0966

広告宣伝

編集後記

「♬明けて巣ごもり　達者でいたか　まずは乾杯・・」と（歌手）坂本冬美さんの歌じゃないですが、約三年振りにグループで飲食・カラオケに行ってみましたが、活況を呈していた。

猛威をふるった新型コロナウイルス感染症対応も、今年五月に五類へ移行し、停滞していた社会・経済活動も活発になってきました。しかし、依然として感染拡大は続いているようです。今後も基本的な感染防止対策は必要ですが、四極会も今期より、積極的に支部活動・親睦会等実施して行く予定です。会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

（柴尾　敏夫　記）

編集委員

委員長　髙井　道晴（大学21回）
委　員　柴尾　敏夫（大学18回）
　　佐藤　浩一（大学24回）
　　小河　裕宣（大学33回）
　　住山　真美（大学47回）
事務局　阿部　通正（大学26回）

世界にひとつ。
あなたにひとつ。

大分銀行グループ
株式会社 大分カード
代表取締役社長 菊口 邦弘
(大学29回)

〒870-0035 大分市中央町2-9-22
TEL.097-537-4347
http://www.oitacard.co.jp/

詳しくはこちら
大分カード 検索

住生活のことなら 私どもにお任せください

売買

マンション・戸建・土地の売却、購入、買い替えに関するご相談、お手続きをサポート。
「中古物件購入＋リフォーム」のご相談も承ります。

賃貸管理

入居者募集から入居者管理、建物管理までさまざまな形でサポート。

空き家管理

留守宅や空き家の管理をサポート。入院やリハビリ、転勤や相続などでご自宅を管理することが難しくなった方へ最適なサービスをご提供いたします。

相続サポート

相続対策や資産継承をサポート。事前の対策から相続後の対応まで、円満でスムーズな相続を実現するためのサポートをさせていただきます。

不動産の総合コーディネーター
BUNGO (株)豊後企画集団
〒870-0007 大分市王子南町5番6号
TEL. 097-537-4975
豊後企画 検索

宅地建物取引業 大分県知事(12)第1196号 賃貸住宅管理業者 国土交通大臣(2)第2011号 マンション管理業者 国土交通大臣(1)第94371号